



コラム ～ 僕には鳥の言葉がわかる ～



先日、久しぶりに本を読みました。最近、本をじっくり構えて読む事ができず、何冊も途中で止まっているのですが、久しぶりに見えていたテレビに著者の鈴木さんが出演していて、面白い人だなあと、著書をすぐにKindle（電子書籍）で購入しました。

私は、最近は完全に電子書籍派になっていて普段持ち歩いている本はほぼほぼKindleになっています。

昔好きだった漫画本も、改めて買い揃えたりなんてことも。その話はさておき、この本は一気に読みたくなる楽しい本でした。

普段の研究場所（フィールドワーク）が、私の故郷の軽井沢というのもあったのかもかもしれません。

普段あまり鳥には興味がなく過ごしている私にしてみたらこれは、別世界の話でとても興味深い話でした。

私は、軽井沢で小さい頃は育ち、途中から家庭の都合で隣の御代田町に引っ越しをしました。その当時は、引っ越すことより別のことがありそれどころではなかったので、気づいたら御代田町、そして進学で他県にと住居を変えていたのですが、その時に軽井沢と他の街の圧倒的な違いを改めて感じる瞬間があったのを覚えています。

軽井沢には、そうこの本のある意味主人公でもあるシジュウカラなどの野鳥があたりまえのように居て、鳥の声を聞かない日はまずなかったと思います。毎日、当たり前前に聞いていると、そのうち気にならなくなり、意識していないのですが、その音が無くなると築くことがあります。でも、あくまでも私にとって鳥の声はBGMの一つでしかなく、特別意識する音ではありませんでした。この本を読んでからは、なんとなく周りの音が気になるようになり、改めて周囲の雑音に最近は、自分から耳を傾けていなかったんだと気付かされました。

さらに知らなかったのが、鈴木先生が発見したシジュウカラの言葉の研究が、世界でも最初は知られておらず研究の成果が世界的な大発見だったということを知り、その研究が身近なところで行われていた事にもものすごい感動を覚えました。

私は、こんなに根気強く一つの事にのめり込むことができない性分なので、この集中力には尊敬です。また、これからもたくさん研究を世界に発表していただきたいと思いました。楽しみが増えました。

裏面も読んでいただき、何かお子さんに不安や心配事などがありましたら、村の保健師や教育委員会、たんこキッズあおきまで、ご相談いただければ対応いたします。

たんこキッズあおき（NPO法人たんこ。）

TEL 0268-75-6789

青木村田沢3075-1

■開所時間 9:00-17:00

■定休日 土日祝日

NPO法人たんこ



ギフテッドという存在

みなさんは、「ギフテッド」という言葉をご存知ですか？

テレビで見かけるギフテッドはいわゆる「天才」と呼ばれている方々に近いのかなと思います。

計算に秀でているとか、スポーツが、勉強がなど

実際、ギフテッドという言葉は、診断名でもなく具体的な定義も少し曖昧なところがあるので、私はあまり使わないようにしている言葉の一つです。

理由の一つとしては「ギフテッド」と呼ばれると、もうこの先は安心と家族も本人も安心してしまうことがあり結果的に自分の能力を十分に発揮できないまま大人になっていく、なんて方も一定数いらっしゃるためです。

「人間は努力をすれば報われる」という言葉があります。

ギフテッドはこの努力をするにあたり、感覚的に対応できてしまうことが多く、人より少ない練習や勉強でも身についていく可能性があるという特徴を持っている方々で、何もしなくても自然になんでもできるというわけではないのです。まさに「努力に勝る天才はなし」という言葉が当てはまるのではないかと。

努力をすれば必ず成功する、うまくいく訳ではないですが、まず興味を持たなければその先はありません。よくテレビなどで取り上げられるような、突然やってみたらできた。は、ほんの一握りに限られますし、そこそこであればできるかもしれませんが、その先を目指すためには興味を持つことが大切になります。

では、ギフテッドと呼ばれている方、実は 2 つのタイプがあると言われていています。また、ここに発達障がいの中の自閉スペクトラム症の特徴などがあります。

本来ギフテッドとは、いわゆる天才で IQ が 150 以上であり、なんでもかんでもではなく、いくつかの分野に突飛な才能を持っている方がそう呼ばれます。そして、この方達は発達障がいの特徴はないということです。ただ単に頭がいいとか、感覚が鋭いだけではないということです。詳しく説明するにはこのチラシの文字数では足りないので、また興味があれば、どこかで紹介をしたいと思います。

それと類似したもので、2E と呼ばれる方も存在しています。これは、ギフテッドの特徴を持ちながら、発達障がいの特徴を併せ持っている方です。昨今、この 2E と呼ばれてる方たちがメディアなどでも取り上げられることが多く、ギフテッド=発達障がい と思われがちですが、これは勘違いが起きています。とはいえ、明確な特徴の違いが見られないために、私たちが見た目で判断することはとても難しいです。では、発達障がいの中でも突飛な特徴を持っている自閉スペクトラム症の方の違いも、同じで見た目や行動だけでは判断するうことはとても難しいです。

ただ、3 つの特徴を持っている方々も、ただ放っておけば能力を発揮できるか？と言われるとそれは間違っていて、なんらかの興味を持つきっかけを体験し自らのめり込んで行く程の興味関心を持つ必要があります。今の時代、自ら興味を持つためのキッカケや知るための情報は、すぐに手に入れることができ、小さい段階から様々な体験をすることができる環境があります。しかし、その興味についても適切なタイミングは本人しかわからなく、小さい頃からたくさん体験するればいいのかというと、そうでもありません。では、何が必要なのでしょう？まずは、目の前にある事に興味を持ち、考えられる環境が必要になるのでしょうか。

「自分は、運動が得意なのか？苦手なのか？」「勉強が得意なのか、好きな教科はなんなのか？」など、特別なことをする必要はなく、まずはできることを体験し、自然に興味を持って、疑問を持ち自分で知るための方法を覚えていくことが大切になってきます。

田舎だと、都会に比べて体験できること知るチャンスがない。そう思われる方もいますが、そんなことはありません。まずは「これは何？」「なぜこうなるの？」という疑問を持つ感性こそ育てる必要があります。

だからと言って、全員がギフテッドになれるという事ではなく、この能力はある意味、生まれ持って備わった脳の気質的なものになります。

では、多くの人とギフテッドの方の大きな違いはどこか？というところですが、多くの人より細かい違いに気づくことができ、学習も含め、多くの人より効率よく記憶できたり、学習することができるという事です。多く見られるところでは「1 度見ただけで、覚えることができる」また「見たものを、そんなに練習もしないでできるようになる。」などの特徴が、誰よりも飛び抜けている人です。なので、神様ではないので何でも最初からできる、わかる訳ではありません。まずは、周りの仲間と一緒に体験を重ねていくことが大切です。

「僕は（私は）、天才（ギフテッド）だから、何もしない。」では、能力を発揮できず、自分自身も困った状況になってしまうなんていう方もいます。なので、ギフテッド=天才 ではないということを皆さん、理解した上で、ギフテッドの方は人との付き合いが苦手な方も多く、孤立しがちですので、もし周りにそんな仲間がいたら一緒に関わってあげていただきたいと思います。そして、ギフテッドじゃないから天才ではないからダメという事ではありません。色々な興味が生まれるような、刺激を感じる毎日が楽しいですよ。